



夏でも手軽に食べられるレシピを紹介 ほうれん草と小松菜を中心に藪塚野菜をPR!

JA太田市藪塚野菜トップセールス

- 期日：6月22日(金)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：JA太田市
- 内容：ほうれん草・小松菜の試食宣伝、藪塚野菜のサンプル展示 等

■ほうれん草と小松菜を試食宣伝でPR!

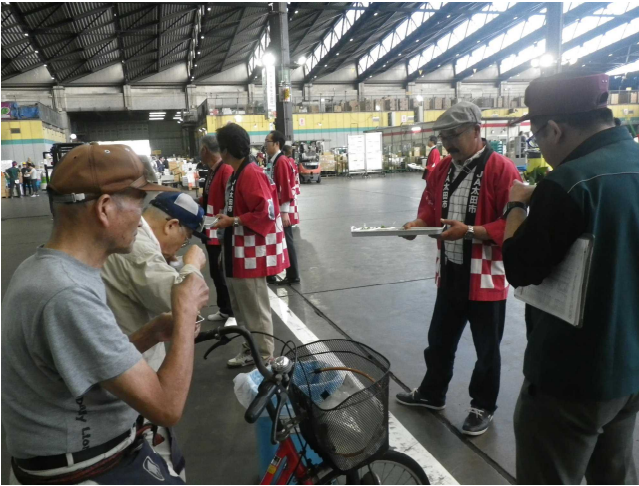
JA 太田市が、藪塚野菜の PR とほうれん草・小松菜の消費拡大のために試食宣伝会を開催しました。当日は「ほうれん草サラダ」と「小松菜のおひたし」が提供されるとともに、なすやモロヘイヤ、小玉西瓜などの藪塚野菜の展示と簡単なレシピの載ったリーフレットの配布が行われました。夏場のほうれん草は、生育が早くアクや苦味が少ないため生のままサラダで食べることができます。試食した市場関係者からは、「サラダで食べられるのは手軽でいい」や「苦味が少なく美味しく」といった声が聞かれました。

PRで来場したJA太田市の天笠副組合長は、「ほうれん草と小松菜は当JAの主力品目であり、周年出荷の体制をとっている。今年は天候にも恵まれ、生育は順調で品質も良い。これからも安定した出荷を心掛けていく」と述べていました。

■群馬県のほうれん草と小松菜の位置

ほうれん草：群馬県産は全国の出荷量の9%を占め、千葉・埼玉に次いで全国で3番目の産地となっています(H28)。また、都中央での入荷量の占有率は32.6%で1位となっています(H29)。2位は茨城県で27.7%、3位は栃木県で11.4%となっています。

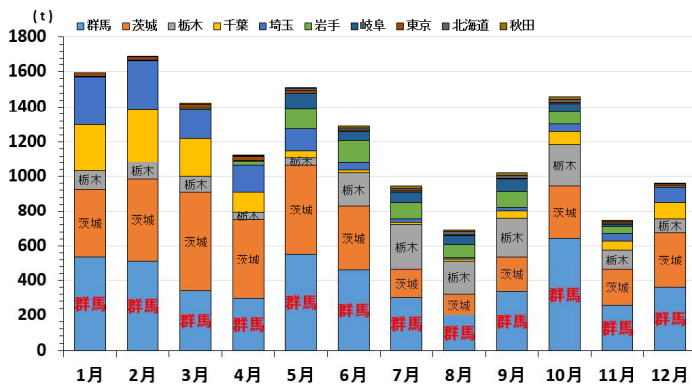
小松菜：群馬県産は全国の出荷量の7%を占め、全国で5番目の産地となっています(H28)。また、都中央での入荷量の占有率は11.4%で3位となっています(H29)。1位は茨城県で48.9%、2位は埼玉県で24.2%となっています。



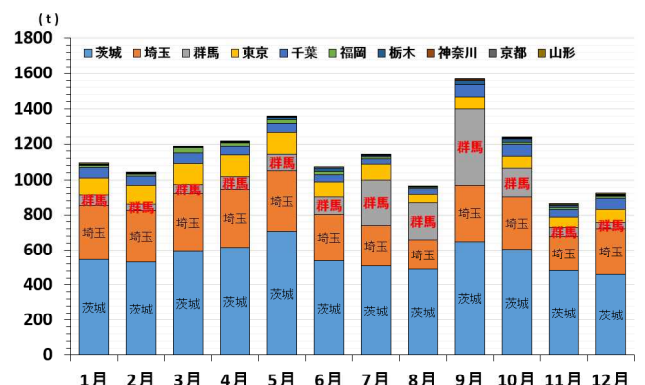
試食宣伝の様子



藪塚野菜の展示



都中央でのほうれん草の入荷量の推移 (H29)



都中央での小松菜の入荷量の推移 (H29)